

2024（令和6）年4月19日  
中野区介護サービス事業所連絡会

2024（令和6）年度  
中野区介護サービス事業所連絡会総会：次第

1. 開 会

会長挨拶

来賓挨拶

中野区長 酒井 直人 氏

中野区地域ささえあい推進部長（地域包括ケア推進担当部長兼務）

石井 大輔 氏

中野区介護保険課長 落合 麻理子 氏

中野区医師会 会長 渡辺 仁 氏

2. 第1部 総会 開会（午後6時00分から）

（1）議長選出

（2）議案の提出

（3）審議

①第1号議案

2023（令和5）年度事業報告・決算（案）について

②第2号議案

2024（令和6）年度事業計画・予算（案）について

③第3号議案

運営委員の選出（案）について

3. 第2部 講演会（午後7時00分から）

テーマ：「新型コロナウイルス感染症に学ぶ医療と介護の連携」

講師：医療法人社団朋友会 宮嶋メディカルクリニック 宮嶋 剛氏

4. 閉 会 （午後8時00分終了予定）

※閉会后、参加者同士で名刺交換会を行います。この機会に事業所同士の交流を深めましょう。当日は、名刺を持参ください。

## 中野区介護サービス事業所連絡会2023(令和5)年度決算 (案)

単位:円

	科 目	内 容	5年度 予算額	5年度 決算額	差異額
1 収入	会費収入	@5,000円×105 @8,000円×57 @2,500円×1 @1,000円×7	1,066,000	990,500	△ 75,500
	研修参加費		20,000	0	△ 20,000
	広報・啓発補助金		250,000	250,000	0
	2023年度繰越金		461,275	461,275	0
	利子収入		7	5	△ 2
	合 計			1,797,282	1,701,780

	科 目	内 容	5年度 予算額	5年度 決算額	差異額
2 支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、交通費、会場費等	50,000	50,660	660
	部会活動費	8部会	380,000	120,862	△ 259,138
	イベント参加費等	介護の日福祉用具展示、健康づくり、地域連携事業等	20,000	108,597	88,597
	広報活動費	広報活動に伴う費用(名刺・郵送代等)、区民向け広報・啓発、ホームページ運営費用等	580,000	351,220	△ 228,780
	事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000	710,000	0
	予備費		57,282	0	△ 57,282
	合 計			1,797,282	1,341,339

〔収支差引額〕

1,701,780円－1,341,339円＝360,441円

(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

上記の収支報告を監査した結果、適正に執行されていると認めます。

2024(令和6)年 4月 9日

監事

駒野登志夫 

## 2024(令和6)年度事業計画(案)

### 1. 運営方針

物価高騰は現在も事業所の運営に大きな影響を与え続け、ギリギリのところまで耐えている事業所もごぞいます。また、令和5年度は新型コロナウイルスが5類へと移行され世の中の動きは戻って参りましたが、我々医療・介護業界は気を許せず、感染症対応に追われている状況でございます。

まだまだ新型コロナウイルス、物価高騰が落ち着いていない状況の中、介護報酬の改定、医療報酬の改定が今年度行われます。

さらに世の中では賃金を上げていく方針の中、我々の事業では保険収益だけではまかなえない、世の中の賃金に追い付いていない現実もございます。

賃金を上げれば、保険収益が上がりきっていないために事業所が負担する金額も大きく、売り上げがさらに厳しくなる、人件費が出せず人手不足なのに人を雇えないという事業所も出てくるのではないのでしょうか。運営を見れば苦しい状況になる事業所が多くなるのではないかと予測されます。事業を撤退される事業所もある事でしょう。

その中で、中野区介護サービス事業所連絡会としての情報共有や意見交換、区政との連携はとても重要なことではないかと思ひます。

また、地域団体(他業種)との交流や中野区との交流の機会を増やしていくことでそれぞれが抱えている課題を解決するための良きアイデアや動きに繋がるのではないかと思ひます。

今一度、交流の機会、顔の見える機会、人と人との繋がりを大事にし、「機会の創造」を多く行っていくよう取り組んで参ります。

今年度の重要活動目標は、以下の内容で取り組んで参ります。

#### 【重要活動目標】

1. 部会間、地域団体との密接な関係作り  
交流促進チームを作り、部会間の交流の促進、運営委員、会員が参加できる地域団体との交流、情報交換の機会を作ります。
2. 中野区との定期的な意見交換の実現  
年一回行われていた中野区との意見交換会だけでなく、定期的な意見交換ができる場の開催に向けて、準備や方法の検討を行います。中野区関係係との交流の機会が作れるよう取り組んで参ります。

## 【昨年度実績】

- 中野区長との意見交換
- 中野区関係係との意見交換
- 中野区議会各会派と予算要望意見交換
- 中野区研修への関わり
- 物価高騰対策支援金支給へ寄与
- BCP フォーマットの作成
- BCP 勉強会の開催
- BCP 中野区防災危機管理課講演会の開催
- 中野区介護サービス事業所連絡会 区長賞の開催
- 地域密着サービス利用指針変更へ寄与
- 福祉用具申請書押印箇所廃止へ寄与

※年間スケジュール添付

## 1. 介護支援専門員部会

令和6年度活動

1. ケアマネジャーのサポート（メンタルヘルス・交流会）
2. ケアマネジャーの資質向上（研修等・主任CM連絡会）
3. 地域連携・感染・災害・広報等  
（令和6年度体制）

役職・役割	氏名	事業所
会長	宮原 和道	NPOピクニックケア
副会長（事務局、会計）	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
副会長（事業所連絡会担当）	三枝 麻美	あいわ介護中野居宅介護支援事業所
地域連携・感染・災害・広報等	加藤 信子	しらさぎ介護保険センター
CMの資質向上	大貫 恵美	ケアステーションみなみ風 中野
CMサポート	中山 大輔	しあわせケアサービス
地域連携・感染・災害・広報等	中條 知子	江古田ケアマネジメントセンター
地域連携・感染・災害・広報等	布施 絹枝	中野北地域包括支援センター
CMの資質向上	田邊 智子	大起エンゼルヘルプ 中野ケアセンター
CMサポート	大場 秀子	江古田地域包括支援センター
CMサポート	和田 和子	桜フローラル

地域連携・感染・災害・広報等	益岡 伸江	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
地域連携・感染・災害・広報等	松木 孝江	パルシステム東京 ケアマネジメントサービス「中野陽だまり」
CMサポート (区西部緩和ケア担当)	廣野 紗矢香	ケアプロ在宅支援センター東京
CMの資質向上 (CMAT担当)	平澤 多香子	介護ステーションぽけっと
地域連携・感染・災害・広報等	布川 文子	グリーンケア 中野
CMの資質向上	築田 晴	南中野地域包括支援センター
CMサポート	皆川 明美	あおば

<p>令和六年四月吉日 中野区 介護支援専門員部会 一同</p>	<p>礼状 宮原 和道 殿 貴方は、十年以上の長きにわたり、介護支援専門員部会の会長を担われました。その功績は偉大なものであり感謝の意を表します。</p>	<p>令和六年四月吉日 中野区 介護支援専門員部会 一同</p>	<p>礼状 中條 知子 殿 貴女は、十年以上の長きにわたり、介護支援専門員部会の役員を担われました。その功績は偉大なものであり感謝の意を表します。</p>
--	---	--	---

(令和6年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4月	役員会	総会 4/
5月	役員会 主任ケアマネ連絡会	
6月	役員会	日本ケアマネジメント学会 東京都介護支援専門員研究協議会総会、研究大会
7月	役員会 主任ケアマネ連絡会	
8月	役員会	
9月	役員会 ケアマネ部会主催全体交流会	

10月	役員会	日本介護支援専門員協会全国大会
11月	役員会 主任ケアマネ連絡会	介護の日主任ケアマネジャー相談窓口 中野区総合防災訓練
12月	役員会	
1月	役員会 主任ケアマネ連絡会	中野区医師会共催研修
2月	役員員会 中野区共催地域ケアマネ研修	東京都介護支援専門員研究協議会地域連 携全体会 医師会主催講演会懇親会
3月	役員会 主任ケアマネ連絡会	東京都介護支援専門員研究協議会第2ブロ ック会

※役員会及び研修は、法定研修に沿いオンラインを優先とします。

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
広報費		10,000	
研修費		30,000	
交通費・活動費・通 信費		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

※感染対策のため予算内で内容を流用する場合があります。

○介護支援専門員部会活動方針

令和5年度は、コロナ過の終わりを告げましたが、まだまだ感染症対策が継続している部分も多くありました。そのため、令和6年度はケアマネジャー同士の顔の見える関係作りを行い、ケアマネジャー同士が相談できる関係作り、主任ケアマネジャーが応援しやすい関係作りを行います。そのため、引き続き3つのチームで、ケアマネジャーのサポートチーム、ケアマネジャーの資質向上チーム、地域連携・感染・災害・広報等チームとして継続していきます。

また、令和5年は元旦から能登半島地震によって多くの方が被災しました。そこで、地域住民のニーズを把握するためのニーズ把握隊が自衛隊に設置されました。アセスメントやニーズ把握の専門性はケアマネジャーにこそあるため、首都直下型地震に備えて、地域や行政に対し周知し、連携しながらケアマネジャーによるニーズ把握ができる体制作りを行います。引き続き、東京都介護支援専門員研究協議会（日本介護支援専門員協会東京都支部）、日本介護支援専門員協会、日本介護支援専門員連盟との連携も強化していきます。

## 2. 訪問介護部会

(令和6年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長(研修)&会計	畑野 由樹	ケアリッツ中野
副会長(認知症)	戸澤 由希子	ケアセンター希
副会長(交流会)	江田 舞	介護ステーションぽけっと
副会長(研修)	関本 貞治	みずたま介護ステーション
書記(研修)	大江 亮平	たんぼぼ介護
(研修)	田山 美紀	みずたま介護ステーション
(研修)	金子 洋平	ヘルパーステーション中野
(研修)	大江 亮平	たんぼぼ介護
(研修)	岩根 誠	クリオケアセンター
(認知症)	五味 尚代	ヘルパーステーション中野の郷
(認知症)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷
(交流会)	木下 綾香	ケアリッツ中野
(交流会)	白須明日香	らいふ・ふれあい介護
(交流会)	田村 竜介	ケアセンター希
(交流会)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(交流会)	光永 真紀	東電さわやかケア中野
(交流会)	飯田 梨沙	東電さわやかケア中野
(交流会)	靱山 愛理	ダスキン ライフケア東中野ステーション
(交流会)	奥田 由美子	介護ステーションぽけっと

(令和6年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会・交流会	
6月	定例役員会	
7月	全体研修	
8月	定例役員会	
9月	定例役員会	
10月	交流会・定例役員会	
11月	定例役員会 介護の日PRイベント	
12月	忘年会	
1月	定例役員会	
2月	定例役員会	
3月	全体研修	

※開催場所はスマイルなかの3階会議室で、18:30～20:30に実施します。

## ○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修費		45,000	
介護の日ポスター パネル代・カラーコピー代		5,000	
合 計		50,000	0

## ○ 訪問介護部会活動方針

今年度はさらに研修や交流会などを通じ、他職種や同じ訪問介護事業所との交流を密にし、訪問介護が抱える問題が改善されるように行動を行っていきます。

中野区での訪問介護の現状を意見交換やアンケート調査を行いながら把握し、介護現場の声を区に届け、共に対策を考えていきます。

役員のメンバーを増やすことで、中野区全体の訪問介護の問題が改善されるように努めていきます。各部会とより連携を深め、定期的な研修を行い、地域のヘルパー研修の技術・知識の向上を図ります。

## 3. 通所介護部会

(令和6年度役員体制)

役 職	氏 名	事 業 所
会 長	西川 陽平	デイサービス宙
副会長	高橋 芹香	デイサービスセンター 江古田の森
運営委員	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら
	高森 千春	第二中野陽だまり
広 報	塚本 夏香	老人デイサービスセンター ふじみ苑
	望月 仁弘	デイサービスセンター 江古田の森
研 修	大草 良仁	SOMPO ケア新中野
	高森 千春	パルシステム東京デイサービスセンター中野陽だまり「だんらん」
会 計	山口 幸美	松ヶ丘高齢者在宅センター
イベント	田中 美抄子	中野共立診療所 通所リハビリテーション
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら

(令和6年度活動計画)

日 程	活動内容	備考(場所)
4月	定例役員会 総会	
5月	定例役員会	
6月	定例勉強会	
7月	定例役員会	
8月	定例勉強会	
9月	定例役員会	



10月	定例勉強会	
11月	定例役員会 介護の日	
12月	定例役員会	
1月	定例役員会	
2月	定例勉強会 研修	
3月	定例役員会	

○予算

(単位：円) -

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師代		30,000	20,000
その他		20,000	0
合 計	50,000	50,000	0

○ 通所介護部会活動方針

令和6年度は、区内通所部会への参加するメリットを伝え、各事業所の悩みや実態を共有できる仲間を増やしていこうと考えています。

そのためには、各部会とも連携を深め、情報共有や定期的な研修開催など、スキルアップや知識の向上に努めていきます。

BCPの義務化が1年延長されましたが、他事業所とも情報共有を行っていきます。

#### 4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和6年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	米倉 雄介	株式会社アースシステム
副会長・会計	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ
広 報	上野山 成人	あけぼの介護センター
監 査	加藤 宗義	ダスキンヘルスレント新宿ステーション
書 記	山路 尚範	株式会社アースシステム

(令和6年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4月	事業所連絡会総会	
5月	定例会	
6月	定例会	
7月	定例会	
8月	定例会	
9月	定例会	
10月	中野区との意見交換会	

	定例会	
11月	介護の日（中野区役所）福祉用具の展示 定例会	
12月		
R7年1月	定例会	
2月	定例会 部会主催研修	
3月	定例会	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
広報費		10,000	
研修講師費		15,000	
その他(駐車場代等)		5,000	
合 計	30,000	30,000	0

○福祉用具・住宅改修部会活動方針

令和6年度方針

福祉用具専門相談員及び福祉用具プランナーは、ケアチームの一員として他職種や専門家と連携を取りながら、福祉用具に関する適切な知識の習得と適用に関する技術の向上を通じて、地域社会貢献に役立てるような活動を目指します。

- ① 福祉用具・住宅改修に関する理解を深めていただけるよう区内の活動(イベント)に積極的に参加していきます。
- ② 中野区の活動に協力していただける福祉用具事業所を増やし、情報の共有や連携を図り、福祉用具・住宅改修事業所の交流の場となるような部会活動を目指します。
- ③ 福祉用具専門相談員の知識・技術力の向上を目的とした部会内研修に取り組みます。

5. グループホーム部会

(令和6年度 役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	前田 勝彦	グループホーム夢
副会長	中村 正司	たのしい家 中野江古田
会 計	前田 勝彦	グループホーム夢

(令和6年度 活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4月	定例会	
5月	定例会	

6月	定例会	
7月	定例会	
8月	定例会・勉強会	
9月	定例会	
10月	定例会	
11月	定例会	
12月	定例会	
1月	定例会/ガイドブック作成	
2月	定例会・勉強会	
3月	定例会	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代		20,000	
GH集いの会		20,000	
その他（予備費）		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○グループホーム部会活動方針

横の繋がりを大切にして部会参加者を増やす事を目標とし、集いの会等を再開し、より充実したものにしていきたいと思っております。

また、引き続きガイドブックを作成(データでの配布)し、地域の皆様へグループホームを知るきっかけや理解、探す際の手助けに繋げていければと考えております。

## 6. 訪問看護部会

(令和6年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	川崎 広志	なごみ訪問看護ステーション
副会長	神野 真紀	あけぼの訪問看護ステーション
副会長	大城 一恵	あかね訪問看護ステーション
書 記	佐藤 靖子	訪問看護リハビリテーションだるま
書 記	東條 茉莉子	ホームケア都立家政
書 記	内田 繭子	ケアプロ訪問看護ステーション
書 記	椎名 真希	ユースタイルケア中野 訪問看護
会 計	松井 薫	中野区医師会訪問看護ステーション
会計監査	工藤 利香	新渡戸記念訪問看護ステーション
	山田 万亀	ホームケア中野
	鈴木 法経	カリス訪問看護ステーション

(令和6年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	役員会	
5 月	部会、総会	
6 月	役員会	
7 月	部会	
8 月	役員会	
9 月	部会	
10 月	役員会	
11 月	部会、ヘルパー研修	
12 月	役員会	
1 月	部会、	
2 月	役員会、看護師向け研修	
3 月	部会	

○予算 (案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師謝礼		40,000	
その他(会場費、 雑費等)		10,000	
合計	50,000	50,000	0

○訪問看護部会活動方針

令和6年度は訪問看護部会会員30ステーションで新たな年度を迎えます。

新たにBCP係とイベント係を新設しました。

BCP係では、BCP策定が完了していないステーションに対して助言を行って参ります。

またBCP発動となった際の部会内での連携方法を協議して参ります。イベント係は、他部会との交流会の窓口として設置しました。

他部会との関わりを密に研修にも積極的に参加し、訪問看護部会として役割を充実させるべく一丸となって取り組んで参ります。

引き続き、新規会員の紹介も行って参ります。

7. 介護老人福祉施設部会

(令和6年度 役員体制)

会長	竹田 真司	( やよいほうむ )
副会長	松永 謙一	( 東京令和館 中野 )
会計	田村 晃司	( 友愛ホーム )
	中島 寛子	( 江古田の森 )

中野区介護サービス 事業所連絡会運営委員	竹田 真司 松永 謙一
-------------------------	----------------

(年間スケジュール) 令和6年度 \*必要に応じてオンライン開催

日程	活動内容	備考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会、合同研修・交流会	
6月	定例役員会、交流会	
7月	定例役員会、合同研修・交流会	
8月	定例役員会、合同研修・交流会	
9月	定例役員会、合同研修・交流会	
10月	定例役員会、合同研修・交流会	
11月	定例役員会、合同研修・交流会、介護の日イベント	
12月	定例役員会、合同研修・交流会	
1月	定例役員会	
2月	定例役員会、交流会	
3月	定例役員会	

(研修予定)

日程	研修・交流会 内容
5月	介護保険法改定内容について(研修・交流会)
6月	採用活動(人材確保)について(交流会)
7月	介護職員の指導・育成について(研修・交流会)
8月	補助金・助成金活用方法について(研修・交流会)
9月	虐待防止について(研修・交流会)
10月	事故防止対策(研修・交流会)
11月	感染症対応について(研修・交流会)
12月	メンタルヘルスについて(研修・交流会)
2月	各施設の在庫品について(交流会)

○ 介護老人福祉施設部会活動方針

介護老人福祉施設においては、定期的に交流かつ情報交換を行い、安定した職員確保や介護保険法改定後の運営及びサービス内容に関して中野区全体の底上げを図ります。

- ① 年9回の研修・交流事業を今年度も実施し、中野区特養部会全体で人材不足や運営についての課題解決に取り組みます。
- ② 役員は毎月定例会で情報交換等を行い、各施設の運営へ活かすものとします。
- ③ 中野区内の他の介護サービス部門と交流や連携を図ります。
- ④ 作成した特養ガイドブックの更新・作成を行います。

## ○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
特養ガイドブック 製本費（200部）		18,810	
講師謝礼代		30,000	
その他		1,190	
合 計	50,000	50,000	0

## 8. 小規模多機能型居宅介護部会

(令和6年度役員体制)

役職	氏名	事業所
部会長	岡 美姫子	東中野キングス・ガーデン
副会長(会計)	岩川 優子	しらさぎ桜苑
副会長	野澤 光太郎	倶楽部千代田會館

(令和6年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4月23日	定例会	
5月28日	定例会	
6月25日	交流・研修会	千代田會館（仮）
7月23日	定例会（要望書作成）	
8月27日	定例会	
9月24日	交流・研修会	江古田の家（仮）
10月22日	定例会	
11月26日	定例会 介護の日イベント	
12月24日	定例会	
1月28日	定例会（事業計画・報告作成）	
2月25日	定例会	
3月25日	定例会	

第四火曜日 14時—15時予定

交流・研修会は1施設2名まで

## ○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
PR物品関係		40,000	
イベント開催準備費		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○ 小規模多機能型居宅介護部会活動方針

- ・令和6年度は引き続き、小規模多機能を多くの方に知っていただける様な仕組み作り（例えば、ガイドブック作成や各地域の民生委員の集まりに参加など）をしていきたいと思ひます。
- ・令和6年度の研修会は、部会内の小規模多機能型居宅介護の施設間見学会を実施し、お互いの運営状況の理解を促進していきたくと思ひます。
- ・定例会で、事業所間の情報交換をしっかりと行い、日々の運営に活かしていきます。
- ・「介護のお困り事相談会（仮称）」開催に向け企画検討を行い、中野区内での小規模多機能の認知度向上及び地域の福祉ニーズに応えます（開催は令和7年度を目指す）。

【実績】

- 中野区長との意見交換 ○中野区関係係との意見交換 ○中野区議会各会派との意見交換予算要望
- 中野区研修への関わり ○物価高騰対策支援金支給へ寄与 ○BCPフォーマットの作成 ○BCP勉強会の開催
- BCP中野区防災危機管理課講演会の開催 ○区長賞の開催 ○地域密着サービス利用指針変更へ寄与
- 福祉用具申請書押印箇所廃止へ寄与

2024（令和6）年度  
中野区介護サービス事業所連絡会 年間スケジュール

参考資

月	全体の動き	正副会長会 / 運営会議議題	各チームの動き	他
4月	4/19（金）総会		チーム編成及びメンバーの調整	
5月	新体制スタート 2024年度年会費納入依頼発送 2024年度区長賞推薦依頼発送 新運営委員ガイダンス	運営委員担当制 正副会長体制	新チームでの取り組み開始 広報紙発行	区長賞応募開始
6月		区介護・高齢者支援課との意見交換会に向けて（全体方針）		
7月		区介護・高齢者支援課との意見交換会に向けて（意見集約）	ZOOMアカウント運用開始	
8月	区議会・政策懇談会		広報紙発行	区長賞応募
9月	○未更新事業者への督促 ○上半期部会会計報告締切	意見交換会最終確認		区長賞準備開始
10月	○中野区との意見交換会 ○未加入事業所へ加入促進	介護の日準備等		
11月	介護の日啓発イベント		広報紙発行	
12月	運営会議お休み			
1月	総会・基調講演について ○部会予算、事業計画締切	総会準備		
2月	事業計画、予算（全体、部会）について	総会準備	広報紙発行	
3月	事業報告、決算（全体） ○部会事業報告、会計締切	総会準備		
※ 正副会長会の年間予定 : 毎月第二水曜日 午後3時～				
※ 運営会議の年間予定 : 毎月第三水曜日 午後1時30分～ ZOOM及びスマイルなかの				



第2号議案—2

中野区介護サービス事業所連絡会2024(令和6)年度予算 (案)

単位:円

	科 目	内 容	6年度予算額	
1	収入	会費収入	@5,000円×111 @8,000円×60 @1,000円×7	1,042,000
		広報・啓発補助金		250,000
		2023年度繰越金		360,441
		利子収入		10
		合 計		1,652,451

単位:円

	科 目	内 容	6年度予算額	
2	支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、交通費等	80,000
		部会活動費	8部会	380,000
		イベント参加費用等	介護の日福祉用具展示、健康づくり事業、地域連携事業等	20,000
		介護サービス事業功労者表彰	賞状印刷代、筆耕代、通信費等	130,000
		広報活動費	広報紙、パンフレット、ホームページ維持経費等・区民向け広報・啓発費、通信、ZOOMアカウント費	310,000
		事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000
		予備費		22,451
		合 計		1,652,451

## 中野区介護サービス事業所連絡会 運営委員

☆新規選出の委員

	氏名	所属	備考(前職等)
委員	福島 誠	はびね中野坂上	会長
委員	森 京子	みつ葉居宅介護支援事業所	副会長
委員	花堂 浩一	在宅介護センター・アスモ	副会長
委員	白岩 裕子	しらすぎ桜苑	副会長
委員	戸澤 由希子	ケアセンター希	副会長
委員	三枝 麻美	あいわ介護中野居宅介護支援事業所	副会長
委員	竹田 真司	やよいほうむ	副会長
委員	宮原 和道	NPOピクニックケア	副会長
委員	奥田 由美子	介護ステーションぽけっと	副会長
委員	☆田邊 智子	大起エンゼルヘルプ 中野ケアセンター	介護支援専門員部会
委員	畑野 由樹	ケアリッツ中野	訪問介護部会
委員	関本 貞治	みずたま介護ステーション	訪問介護部会
委員	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぶりむら	通所介護部会
委員	☆高森 千春	パルシステム東京 デイサービスセンター中野陽だまり「だんらん」	通所介護部会
委員	米倉 雄介	株式会社アースシステム	福祉用具・住宅改修部会
委員	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ	福祉用具・住宅改修部会
委員	前田 勝彦	グループホーム夢	グループホーム部会
委員	☆中村 正司	たのしい家 中野江古田	グループホーム部会
委員	山田 万亀	ホームケア 中野	訪問看護部会
委員	☆鈴木 法経	カリス訪問看護ステーション	訪問看護部会
委員	松永 謙一	東京令和館 中野	介護老人福祉施設部会
委員	岡 美姫子	東中野キングス・ガーデン	小規模多機能型居宅介護部会
委員	岩川 優子	しらすぎ桜苑	小規模多機能型居宅介護部会
委員	☆野澤 光太郎	倶楽部千代田會館	小規模多機能型居宅介護部会
委員	齊藤 稔	社会医療法人社団 健友会	
委員	岩根 誠	クリオケアセンター	
委員	鈴木 靖夫	弥生居宅介護支援事業所	
監事	駒野 登志夫	社会福祉法人 武蔵野療園	